

今月のなかはなさん 伊勢音頭・運動会

10月は、伊勢大祭がありました。利用者様と伊勢音頭の唄を歌うと、自然と体が動き出し踊りだす方もいました。「うちら子供の時は、みんな



伊勢音頭を踊ってたから...」  
 「ひとつのふたつのみっつの、両手あげて、  
 両手さばいて、ちょんがちょん。輪になったり  
 ますぐになつて踊ったり 楽しかったなあ〜。」  
 「伊勢祭りでは、一木、大世古町は料理屋が多く  
 芸者衆も多かったから、おはやしや三味線が出て  
 あでやかで、それは素敵でしたよ。」



伊勢図書館2階ふるさと文庫で伊勢音頭と伊勢祭りについて調べてきました。  
 昭和49年に発行された「伊勢音頭」という本の中から一部をご紹介します。  
 伊勢音頭は、昔からお伊勢参りの道中唄(別れの唄)は道者との別れを惜しむ  
 妓楼の女達の哀愁さをもる慕情を歌ったもの。

49年の伊勢大祭では、市長さんが筆にゆられて昔の参宮姿。  
 お供は、市役所の助役さんや部長、課長さんがにわか造りの参宮旅人姿。  
 それに市議会議員さんも参加とあって仲々の賑わい。楽しい様子が書かれています。



10月は、運動会を開催しました。

- プログラム
- 1 ラジオ体操
  - 2 熱中! 玉入れ
  - 3 トントン大相撲
  - 4 息を合わせて玉運び
  - 5 白熱風船パレー
  - 6 表彰式

